



【文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)認定】

2019 年度(平成 31 年度)

東京電機大学  
「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」  
募集要項

<履修証明制度対応>



<https://cysec.dendai.ac.jp/>

**TDU** 東京電機大学

東京電機大学「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」募集要項  
＜履修証明制度対応＞

東京電機大学では、「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」として、7科目を開講します。このコースは、履修証明制度に対応しています(7科目すべてを修得することで履修証明の要件を満たします)。

### 1. 教育目的

悪意あるソフトウェアによる攻撃は増加の一途であり、サイバーセキュリティのより一層の充実、社会を安心・安全・豊かにするための喫緊の課題です。そのためには、社会活動に参加するすべての人々のサイバーセキュリティ意識を高める必要があります。

本プログラムは、社会構成員全員のサイバーセキュリティ意識の高揚を先導する、高度サイバーセキュリティ専門家の養成を目的としています。

### 2. 教育課程

本プログラムでは学術的教育体系の基で、CISO (Chief Information Security Officer) やCSIRT (Computer Security Incident Response Team)、SOC (Security Operation Center) で活躍する高度サイバーセキュリティ専門家を育成すべき対象としています。そのような人材を育成するため、企業等で活躍されている専門家を招聘し、事例紹介と事例に基づくワークショップ形式の演習と座学ワークショップを合わせて実施します。

国際的な情報セキュリティ・プロフェッショナル認定資格であるCISSPの共通知識体系を基本としたカリキュラムを準備し、法律・倫理など制度的枠組みに関する理解や、攻撃者の意図や行動に関する洞察、企業におけるコンプライアンスを実現するためのガバナンスなど、幅広くかつ高度な能力を育成するために、以下の7科目(演:演習中心3講座、講:講義・ワークショップ中心4講座)を開講します。開講する科目は、大学院修士課程相当の内容です。なお、2018年5月時点において、(ISC)<sup>2</sup>のIAP (International Academic Program)のCISSPコースは日本国内においては本プログラムのみとなります。

① サイバーセキュリティ基盤Ⅰ	(1PFⅠ)	(講)
② サイバーセキュリティ基盤Ⅱ	(1PFⅡ)	(講)
③ サイバーディフェンス実践演習	(2CD)	(演)
④ セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法	(3IN)	(講)
⑤ デジタル・フォレンジック	(4DF)	(演)
⑥ 情報セキュリティマネジメントとガバナンス	(5MG)	(講)
⑦ セキュアシステム設計・開発	(6DD)	(演)

※ 科目名に記載した英数字は科目記号です。

### 3. 履修証明書

学校教育法に基づく履修証明制度により、プログラム修了者には、「国際化サイバーセキュリティ学特別コース履修証明書」を授与します。

#### 【本プログラムにおける履修証明書交付要件】

開講される7科目すべてを修得すること

#### 【履修証明制度概要】

平成19年度の学校教育法の改正により、大学等における「履修証明制度」が創設されました。

これは、学生を対象とした学位プログラムの他に、社会人等を対象とした120時間以上の学習プログラム(履修証明プログラム)を提供し、修得した者に履修証明書を発行する制度です。履修証明制度には、以下の3点の特徴があります。

- (1)大学の学位に比べ、より短期間に修得することが可能
- (2)再就職やキャリアアップに役立つ社会人向けの教育プログラム
- (3)プログラム修了者には、学校教育法に基づき履修証明書を交付

※履修証明制度に関する文部科学省 Web ページ

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/shoumei/](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/)

#### 4. 教育訓練給付制度

本プログラムは厚生労働省の教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)に認定されています。この制度は、一定の条件を満たした方が厚生労働大臣の指定する講座を受講し修了した場合、支払った経費の一部が支給される制度です。

※教育訓練給付制度に関する厚生労働省 Web ページ

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/jinzaikaihatu/kyouiku.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatu/kyouiku.html)

※指定番号：48159-171001-1

※受講開始日1ヶ月前までにご自身でハローワークにて手続きをして頂くこととなります。

詳細については、厚生労働省 HP にて各自ご確認のうえご対応下さい。

※申請予定者は願書の下部にあるチェック欄に必ずご記入ください。

※1PF 出張講義や4DF 特別研修の場合、教育訓練給付制度はご利用いただけません。

#### 5. 募集人員

国際化サイバーセキュリティ学特別コース 2019年度 定員40名

#### 6. 講座実施場所

東京電機大学 東京千住キャンパス

#### 7. 開講期間・開講日時等

2019年の祝日が確定後、本学の学事日程を定めます。その後、2019年度前期及び後期のCySec開講期間を公表する予定です。

【参照:2018年度開講期間】

前期: 2018年4月10日(火)~2018年7月28日(土)

後期: 2018年9月13日(木)~2019年1月21日(月)

時間割りは以下の通り。

科目名	配当期	曜日	時限
サイバーセキュリティ基盤 I (1PF I)	前期	金	D5
サイバーセキュリティ基盤 II (1PF II)	前期	土	N1,N2,N3
サイバーディフェンス実践演習(2CD)	前期	土	N1,N2,N3
セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法(3IN)	前期	火	D5
デジタル・フォレンジック(4DF)	後期	木	D5
情報セキュリティマネジメントとガバナンス(5MG)	後期	火	D5
セキュアシステム設計・開発 (6DD)	後期	土	N1,N2,N3

※各科目のシラバスについては Web ページを参照

(H31 年度シラバスは確定次第 HP で公開します。)

<https://cysec.dendai.ac.jp/category/allyear/>

※半期ごともしくは、前期・後期 1 年通しての申請可能。

※1PF II および 2CD の授業は 1 回 3 コマの集中講義となり、それぞれ 1~3 週に 1 回のペースで行われます。授業日が重複しないよう設定するため、同時履修が可能です。

受講にはノートPCが必要となります。推奨するスペック等については、Webページの「よくあるご質問」(授業について)をご確認ください。

## 8. 受講資格

本プログラムは、CISO (Chief Information Security Officer) や CSIRT、SOC 等での活躍を目指す、基本的な情報セキュリティ知識を有する者を対象に開講します。

次の各号の一つに該当する者(大学院修士課程入学レベル)

- ① 大学を卒業した者、及び本プログラム受講時まで卒業見込みの者
- ② 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者、及び本プログラム受講時まで授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者、および本プログラム受講時まで修了見込みの者
- ④ 大学の 3 年次に在学し、当該大学(学部)で定める早期卒業基準を満たす者
- ⑤ 大学の 3 年次に在学し、または外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本大学院未来科学研究科委員会が、優れた成績で所定の単位を修得したものと認めた者
- ⑥ その他本大学院未来科学研究科委員会が、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

開講される各科目を履修する際の前提条件は次の通りです。

(1PF I・II) サイバーセキュリティ基盤 I・II – CISSP講座

※ I・II 同時受講を強く推奨します。

- ネットワーク、OS、セキュリティ関連技術に関する学部卒業レベルの知識を有すること。

(2CD) サイバーディフェンス実践演習

- 分散処理、コンピュータネットワーク、TCP/IP およびセキュリティ関連技術に関する学部卒業レベルの知識を有すること。
- UNIX 系OS の操作に習熟していること。
- プログラミング経験を有すること。
- アセンブリ知識を有していること(x86)。

(3IN) セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法

- 1PF I・II サイバーセキュリティ基盤 I・II の先修を推奨する。
- 5MG 情報セキュリティマネジメントとガバナンスの先修または同時履修を推奨する。
- 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする。

(4DF) デジタル・フォレンジック

- 1PF I・II サイバーセキュリティ基盤 I・II の先修を推奨する。
- 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする。

(5MG) 情報セキュリティマネジメントとガバナンス

- 1PF I・II サイバーセキュリティ基盤 I・II の先修を推奨する。
- 3IN セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法の先修または同時履修を推奨する。
- 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする。

(6DD) セキュアシステム設計・開発

- 1PF I・II サイバーセキュリティ基盤 I・II の先修を推奨する。
- 基本的なプログラミング能力、基礎的なHTML/DBの知識を前提とする
- 学部卒業程度の情報セキュリティに関する基礎知識を前提とする。

## 9. エントリー

出願に先立ちエントリーが必要となります。エントリーは、以下の方法でレポート提出と同時に受け付けています。エントリーに費用はかかりません。

【受付期間】 2018年12月18日(火)～2019年1月18日(金) 12:00

- 【方法】
- ・HPからレポートフォーマットをダウンロードする。
  - ・レポートテーマ「現在の職業とCySecとの関わりと将来の抱負について」
  - ・下記エントリー専用メールアドレスへレポートを添付して提出する。
  - ・エントリー件名は「CySecH31年度前期エントリー」とする。
  - ・メールは本文に氏名、所属名を記載する。

エントリー受付専用メールアドレス：[cs-entry@cysec.dendai.ac.jp](mailto:cs-entry@cysec.dendai.ac.jp)

【エントリー受付確認メール】

CySec事務局から「受付完了メール」を送信します。エントリー受付期間を過ぎても完了メールが届かない場合は、お問合せください。

## 10. 出願手続き及び期間

エントリー完了後、受付期間内に下記手続き書類を郵送してください。

【受付期間】 2019年1月18日(金)～2019年1月31日(木) ※当日付まで有効

### 【手続き書類】

- ① 東京電機大学「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」願書  
写真1枚(カラー、脱帽上半身、背景なし、最近3ヶ月以内撮影、願書の所定欄に貼付してください。)
- ② 最終出身学校の卒業証明書もしくは卒業見込証明書
- ③ 最終出身学校の成績証明書
- ④ 受講資格審査料振込控えのコピー  
※ネットバンキングで手続きした場合は振込完了画面のハードコピー等

※ 上記の手続き書類郵送前に、受講資格審査料の振り込みが必要となります。詳細については、「11. 受講資格審査と審査料について」を参照してください。

※ 願書、レポートのフォーマットおよび募集要項は、下記WEBページで入手することが可能です。

WEB ページ <https://cysec.dendai.ac.jp/admission/>

※ 過去4年以内に、省庁等で1PF出張講義を修了した方、本学で4DF特別研修を修了した方は、願書の下部にあるチェック欄に必ずご記入ください。

### 【注意事項】

- 出願は、郵送での受付となります。**持参による提出はできません。**
- 出願者は、出願書類一式(上記①～④の書類)を、角形第2号封筒(240×332mm)に入れ、簡易書留・速達で郵送してください。(持参による提出は不可)
- 郵送の際は、封筒の表面に**出願書類在中**と朱記してください。また封筒の裏面に出願者の住所、氏名を記載して下さい。
- 郵送された願書等は返却いたしません。

出願に必要な、【手続き書類】①②③④を、次の送付先に郵送してください。

### 【手続き書類の送付先】

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番  
東京電機大学 5号館 12階  
国際化サイバーセキュリティ学特別コース事務局 行

## 11. 受講資格審査と審査料について

面接による受講資格審査を行います。受講資格審査には「受講資格審査料」がかかりますので次の通り振込をお願いします。

【受講資格審査日時】：2019年2月7日(木) 18時00分～21時

※ 全員の面接を上記時間内に行います。なお、面接は出願順となります。

※ 別日への変更はできません。

【受講資格審査場所】：東京千住キャンパス

〒120-8551

東京都足立区千住旭町5番

北千住駅東口(電大口)から徒歩1分

〔 JR 常磐線・東京メトロ(日比谷線・千代田線)・  
東武伊勢崎線・つくばエクスプレス 〕

※場所等詳細については2月4日(月)までに電子メールでご連絡いたします。

【受講資格審査料振込期間】

2019年1月18日(金)～2019年1月31日(木)※当日付けまで有効

【受講資格審査料振込先】

銀行名:	三菱UFJ銀行(0005)
支店名:	神田支店(331)
種別:	普通
口座番号:	1186980
名義:	学校法人 東京電機大学 受講料口 理事長 加藤 康太郎
振込金額	10,000 円 (受講資格審査料)

※ 振込人名義の頭に3000と入れてください。

※ 振込手数料は振り込みされる方のご負担となります。

※ 受講資格審査費用は、面接を欠席された場合でも返金致しかねます。

## 12. 受講資格審査結果通知

受講資格審査結果は以下の通知日に電子メールにて通知いたします。

【通知日】：2019年2月14日(木) 予定

※ 2月15日(金)までに電子メールによる合否通知が届かない場合は、以下の問い合わせアドレスにご連絡ください。

CySec 事務局 [cs-jimu@cysec.dendai.ac.jp](mailto:cs-jimu@cysec.dendai.ac.jp)

※ お問い合わせ内容の1行目に「CySec 合否通知不着」と記載してください。2行目以降に、氏名・電話番号・受験番号を記入してください。

### 13. 受講手続き等

受講資格審査合格者へは、合格通知とともに次の書類を送付いたします。所定の期間内に、受講費等の振込を含めた手続きを行ってください。詳細については、受講資格審査結果通知時に、改めてお知らせいたします。

#### 【大学から送付する書類】

- ・受講資格審査結果通知
- ・受講手続き等について
- ・「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」履修申請書
- ・履修申請書の書き方見本
- ・CySec 受講生マニュアル「受講案内」
- ・厚生労働省「教育訓練給付制度(専門実践教育訓練給付)」について
- ・Annual Report 2018

#### 【大学への郵送が必要となる書類】

- ① 「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」履修申請書
- ② 受講料等の振込控えのコピー ※ネットバンキングで手続きした場合は振込完了画面のハードコピー等
- ③ 健康診断書 指定項目:身長、体重、胸部 X 線所見、問診  
※職場の健康診断書の写しでも可能。ただし過去 1 年以内のものに限る。

#### ●受講手続き時に必要となる費用(登録料・受講費・施設利用費・電子教材費)

【登録料】	10,000 円	
【受講費】	32,000 円/科目	(7 科目で 224,000 円)
	1 科目 32,000 円	2 科目 64,000 円
	3 科目 96,000 円	4 科目 128,000 円
	5 科目 160,000 円	6 科目 192,000 円
	7 科目 224,000 円	

※ 子育て世代女性の受講支援のため、一定の要件を満たした場合、上記とは別の受講費を設定しています。詳しくは巻末に記載のお問い合わせ先にご連絡ください。

【施設利用費】 10,000 円(半期)  
(ID カード作成費、PC 等設備利用費、図書館利用費等)

【電子教材費】 実費 (参照:H30 年度 US \$ 200 相当)

※ 電子教材費は為替レートにより変動しますので、後日改めてご連絡します。(2 月予定)

※ この電子教材費以外に教科書等の購入費がかかる場合があります。

※ 一度振り込まれた受講費等はいかなる理由があっても返金致しかねます。振込手数料は振り込みされる方のご負担となります。

【手続締切日】 : 2019 年 3 月 14 日(木) (書類必着・費用振込当日付け有効)



**【お問い合わせ先】**

東京電機大学 CySec事務局 [cs-jimu@cysec.dendai.ac.jp](mailto:cs-jimu@cysec.dendai.ac.jp)

以上